

第8章 目標達成のための事業および実施主体

基本方針1 地域毎の実情に即した利便性の高い交通体系を目指す

①地域の実情に即した公共交通サービスの実現

事業1	空港シャトルバスの見直し					
事業概要	<p>芝山鉄道の延伸代替バス（3市町共同運行）という趣旨や、現行でも運行距離の長さ等に課題があることから、町内外の移動拡充等については慎重に検討する必要がある。一方で、利用者満足度や収支率等が比較的高い傾向にあるため、今後も定時制の確保や利便性の向上を図りながら町の幹線を担うバスとして位置づける。（「成田空港～芝山町～山武市～横芝光町」を広域的に結ぶ地域の交通資源）</p>					
	<p>【実施内容】</p> <p>■定時性確保に向けた取組みの検討</p> <p>→公共車両優先システム／PTPSの導入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝山はにわ道（特に岩山交差点以北）については、空港シャトルバス等の公共車両が優先的に通行できるように、専用・優先レーンの設置や、停止時間を極力短縮する信号制御、専用レーンの違法走行車両への警告等を通じて支援するシステムの導入等について関係機関と協議する。 <p>■利便性向上に向けた取組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル定期等の導入について検討する。 ・JR松尾駅南での鉄道との乗り継ぎの利便性を高めるための検討について、関係自治体との協議を図る。 <p>■環境に配慮した車両等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しない環境配慮型の燃料電池車両やEVバス、輸送力の強化も伴うハイブリッド連節バス等の導入を検討する。 					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■燃料電池バス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■ハイブリッド連節バス</p>  </div> </div>					
実施主体	芝山鉄道延伸連絡協議会（芝山町・山武市・横芝光町）、公共交通事業者					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・定時性確保に向けた取組み	協議		検討・協議		
	・利便性向上に向けた取組み	協議		検討・協議		
・環境に配慮した車両整備	研究・検討					

事業2

芝山ふれあいバスの見直し

事業概要

平日は芝山千代田駅及び松尾駅方面への通学・通勤や道の駅風和里しばやまへの買い物の足、土曜日等はサテライト成田への娯楽の足として一定程度定着している部分がある。一方で、運行距離の長さや交通事業者の負担に関する課題と運行内容への利用者要望等が併存しているため、将来的なニーズ及び移動実態を十分に把握しながらルートやダイヤ再編について検討する必要がある。

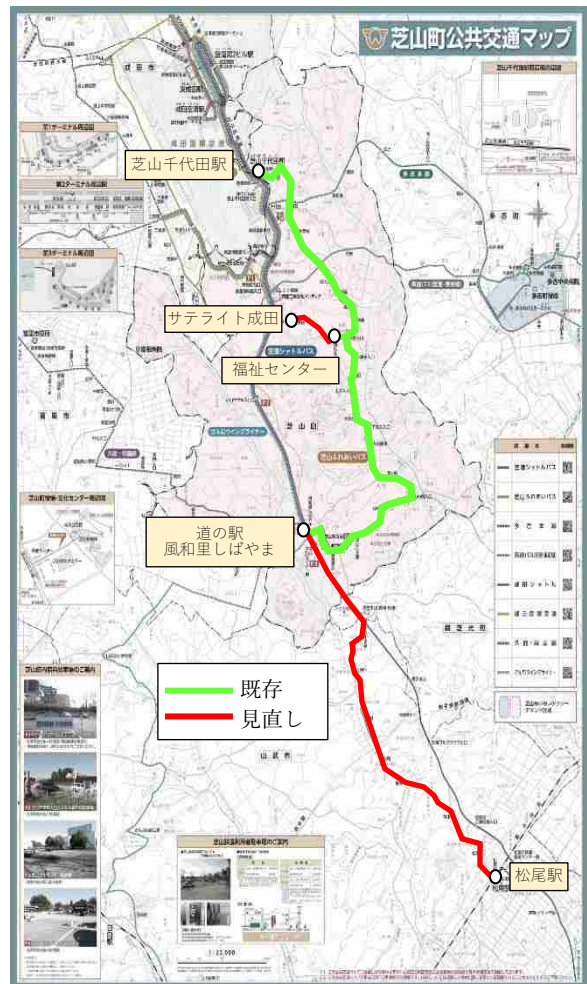
【実施内容】

■ルート及びダイヤ再編の検討

- ・運行距離の長さ等を見直すために、町外利用者区間の「風和里しばやま～松尾駅間」について、運行区間の縮小や効率的なダイヤの再編を検討する。
- ・サテライト成田区間については、平日や早朝時間帯の利用者が少ないことと、施設の無料送迎バスも運行されていることから、当該区間の運行内容の見直しを検討する。
- ・現行の路線上に近接する町内集客施設等への乗入れ可能性についても検討し、町民の利用促進を図る。
- ・交通管理者及び道路管理者との協議を踏まえ、路線上で利用者の少ない停留所を集約してフリー乗降区間の設置を検討する。
- ・より効果的となるようなルート再編について、前述を十分に整理したうえで順次検討する。

■効率的な運行内容の見直し

- ・利用の少ない祝日運行の廃止等について検討する。



実施主体	芝山町、公共交通事業者					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・ルート及びダイヤ再編等	協議・実施		協議・実施		
	・効率的な運行内容の見直し	実施	検討・協議			

事業3 芝山あいあいタクシーの見直し

事業概要

低価格で町内全域（一部多古町）を移動できるため、高齢者の通院・買い物、若年層のスポット的な通学利用等に利用され、その利用満足度はある程度高いと言える。一方で、それらの利便性や活用性等の認知度が低いという現状もあり、さらなる利用促進に注力していかなければならない。今後の芝山あいあいタクシーについては、町内全域を補完するフィーダー交通としての役割を確立させるとともに、若年層の利用率も上げていくことでデマンド交通をより有効的なものとしていく。

また、今後の利便性の向上については、電子予約システムの導入やニーズの多い町外（成田市・富里市・成田空港ターミナル・八街市等）へのアクセス拡充等についても順次検討していく。ただし、その際には適正運行として運賃体系等の見直しも併せて実施する。

【実施内容】

■利用促進に関する積極的な PR 活動

- ・乗り方教室の実施や利用啓発に注力する。

■利便性の向上

- ・電子予約システムの導入を検討する。



■ 町外へのアクセス拡充の検討

- ・町外アクセスについては、まずは「高齢者等の通院」をキーワードとし、国保多古中央病院に次いで町民の利用が2番目に多い「国際医療福祉大学成田病院」を目的地とした実証運行を検討する。
- さらに、その他の目的地拡充についても関係機関との協議や実証運行の結果等を十分に踏まえながら段階的に検討していく。

【利用の多い通院先】令和4年度町民アンケート調査

町内			町外		
施設名	件数		市町村	施設名	件数
1 芝山みどりの森クリニック	146		多古町	国保多古中央病院	104
2 高根病院	135		成田市	国際医療福祉大学成田病院	64
3 原田医院	47		成田市	成田赤十字病院	59
4 藤田歯科医院	6		成田市	伊藤医院	17
5			富里市	成田富里徳洲会病院	16

※5件以上を集計


■運賃体系の見直し検討


- ・運行内容の拡充に伴い適正な行政負担及び利用者負担に配慮し、周辺自治体を参考にしながら運賃体系の見直しについて検討する。（価格は大人料金）

自治体名		区域内	区域外
芝山町		200円	300円（多古町）
富里市	乗降ポイント方式	300円	500円
	ドア・ツー・ドア方式	400円	600円
多古町		400円	—
横芝光町		300円	—

実施主体 芝山町、公共交通事業者

実施時期	実施内容	R6	R7	R8	R9	R10
実施時期	・利用促進に関する PR 活動	実施	適宜実施			
	・電子予約システムの導入	実施				
	・町外アクセスの拡充	協議・実施		協議・実施		
	・運賃体系の見直し	協議・実施		協議・実施		

事業 4		芝山鉄道の利用促進等				
事業概要	<p>芝山千代田駅については、成田空港に近接し当町のみならず周辺市町も含めた交通結節点としての役割を担っているため、各バス路線等との乗り継ぎの円滑化を図りながらさらなる利用促進を図っていく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■利用促進に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーク＆ライド駐車場（芝山鉄道利用者駐車場等）の活用と併せて利用促進を図る。 <p>■利便性向上に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通系 IC カード等の導入について検討する。 <p>■将来的な在り方等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種関係施策と連動しながら将来的な在り方等について検討する。 	<p>■パーク＆ライド駐車場</p> 				
	<p>実施主体</p> <p>芝山鉄道延伸連絡協議会（芝山町・山武市・横芝光町） 芝山鉄道利用者駐車場管理運営協議会（芝山町・多古町） 関係機関</p>					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・利用促進に関する取組み	適宜実施				
	・利便性向上に向けた検討	検討・協議				
	・将来的な在り方等の検討	検討・協議				

事業 5		多古本線等の路線バスの利用促進				
事業概要	<p>路線バスにおいて、「八日市場駅ー成田駅間」の生活路線である多古本線については、当町においても広域移動が可能な町民の足（通勤・通学・買い物等）として重要な役割を担っていることから、引き続き地域公共交通確保維持改善事業（地域幹線系統補助）を活用して路線を維持する。</p> <p>また、町内北側の空港周辺を循環する成田空港交通路線については、1日フリーパス乗車券の周知等により利用者増加に向けたさらなる利用促進を図っていく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■多古本線の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページ等の活用と併せてデイトムフリー乗車券等の周知により利用促進を図る。 <p>■成田空港交通路線の利用周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカイライナー成田周遊きっぷ等の周知により利用促進を図る。 	<p>■スカイライナー成田周遊きっぷ</p> 				
	<p>実施主体</p> <p>芝山町、公共交通事業者、周辺自治体</p>					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・多古本線の利用促進	協議・実施				
	・成田空港交通路線の利用促進	協議・実施				

■地域間幹線補助系統に係る概要整理

系統名	起点	経由地	終点	事業認可区分	運行態様	実施主体	補助事業の活用
路線バス 多古本線	JR 成田駅	多古台 BT	八日市場駅	4 条乗合	路線 定期運行	ジェイアールバス関東	幹線補助

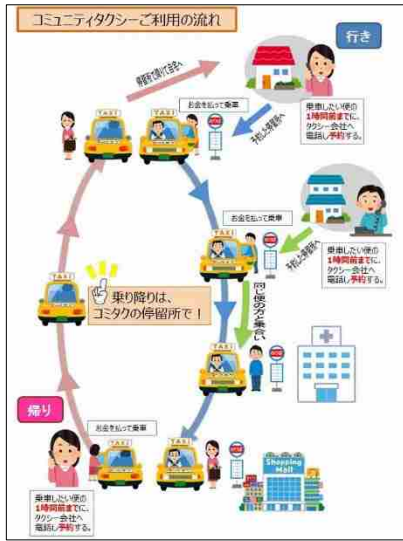


事業 6		西側地域等の新規移動手段の創出				
事業概要	<p>コミュニティバスや路線バス等が通っていない町西側地域及び東側地域において、町の交通結節点等に接続するフィーダー系統の新設や既存資源の有効活用を含めた効果的な交通網の創出について検討していく。その中で、町内全域を補完する芝山あいあいタクシーの利用促進について特に注力する。</p> <p>また、将来的な施策については、行政負担のみの選択肢だけではなく地域が参画・連携するような仕組みづくりについても検討していく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■芝山あいあいタクシー（デマンド交通）の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい説明チラシの作成、乗り方教室を実施する。 <p>■新規移動手段の創出検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の交通結節点（小池地区）までの効果的な移動手段の創出について検討する。（小型バス輸送や地域共助輸送等を含め） ・西側地域等について、住民の生活圈や移動実態及びニーズ等を踏まえたうえで新たな移動手段の創出について検討する。 <p>■スクールバスの活用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在運行中のスクールバスについて、混乗化や共用化（スクールバス利用時間以外の一般利用）等による有効活用化を検討する。 <p>■地域住民が参画するような仕組みづくりの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との定期的な意見交換及び情報交換等を実施する。 					
	実施主体	芝山町、地域住民、公共交通事業者				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・デマンド交通の利用促進	実施	適宜実施			
	・新規移動手段の創出検討	検討・協議				
	・スクールバスの活用検討	検討・協議				
	・地域住民参画の検討	実施	適宜実施			

【芝山あいあいタクシー利用促進のためのわかりやすい説明チラシの作成、乗り方教室の実施】

芝山あいあいタクシーの利用方法について、わかりやすい利用方法のチラシの作成及び町民に対する説明会の開催を検討する。

■デマンドタクシー利用方法チラシ（倉敷市）



■乗り方教室開催事例（大子町）

開催日時・会場	開催日時	会場
6月20日(火)	9:30~11:30	牧上コミュニティセンター
	14:00~16:00	鹿野コミュニティセンター
6月22日(木)	9:30~11:30	栗川コミュニティセンター
	14:00~16:00	田川コミュニティセンター
6月27日(火)	9:30~11:30	手島コミュニティセンター
	14:00~16:00	森田コミュニティセンター
6月29日(木)	9:30~11:30	北川コミュニティセンター
	14:00~16:00	大子町コミュニティセンター
7月4日(火)	9:30~11:30	文化滞在館ほいほい
	14:00~16:00	文化滞在館ほいほい

※受付は3ヶ月前から開始します

■当日のスケジュール
 (1) 午前の部
 9:00 (受付) --- 9:30 (乗り方教室) --- 10:30 (総集会) --- 11:30 (昼食)
 (2) 午後の部
 13:30 (受付) --- 14:00 (乗り方教室) --- 15:00 (総集会) --- 16:00 (昼食)

■申込方法
 希望する会場の開催日前日までに、右記申込先までお電話ください。なお、申込状況により、申込を締め切らせていただく場合がありますので、ご承諾おまちください。

■問合せ・申込先
 大子町まちづくり課
 TEL 72-1131

【スクールバスの活用による検討】

■スクールバス活用案


形態	考え方	運行イメージ		
		登校時間	昼間時間帯	下校時間
混乗化	これまでのスクールバスに地域住民が「混ざって」乗車	スクール + 混乗		スクール + 混乗
共用化	同じ車両を「共用」し、スクールバスの利用時間以外に乗合バスとして運行 (一緒には乗り合わない)	スクール 対応	乗合バス	スクール 対応
乗合化	一般的な「乗合」バスに子どもたちが乗車	乗合バス		

※共用化の場合、スクールバスとしての利用時間帯には地域住民は乗車しないため、子どもたちが乗り切れないこともなく、安全の確保も容易であるため混乗化より学校やPTAの同意が得やすい。

※「安全の面で万全を期すこと」は必須条件であり、これは混乗化以外の場合にもあてはまり、特に地域住民から大人と子供が乗り合わせることにに対する不安から混乗化や乗合化について反対意見が出されることが多い。

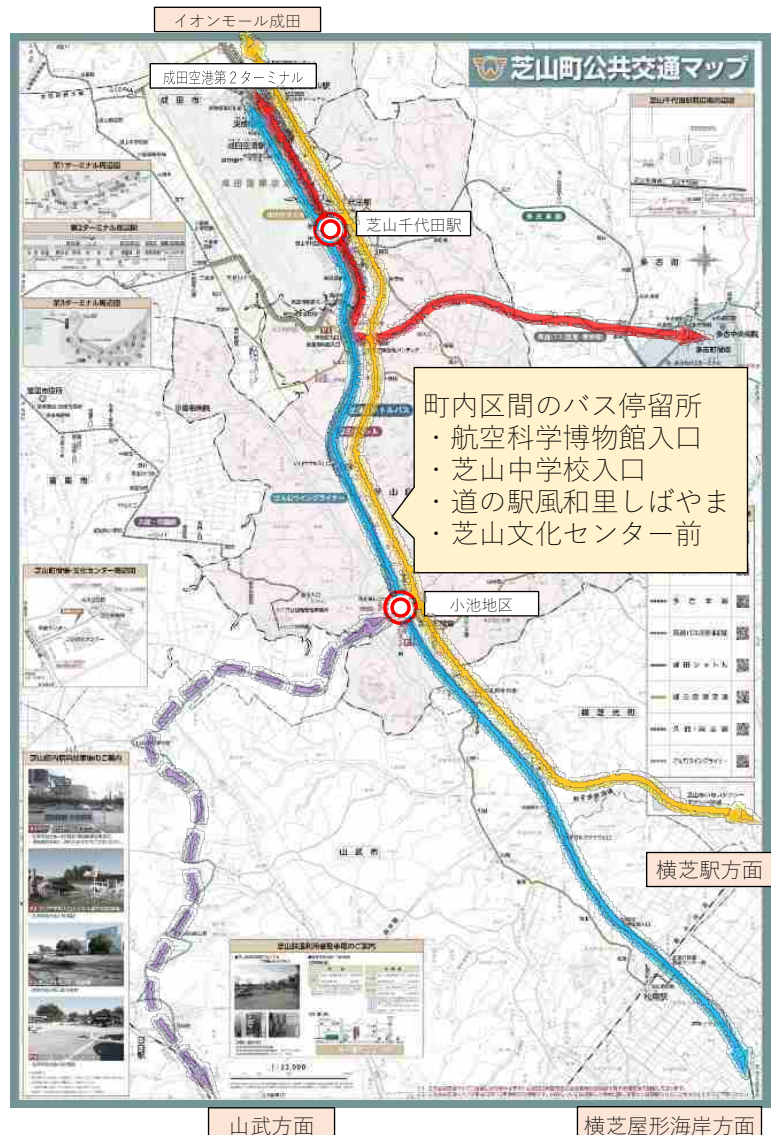
※昼間時間帯の新たな運転手の確保が必要となる。


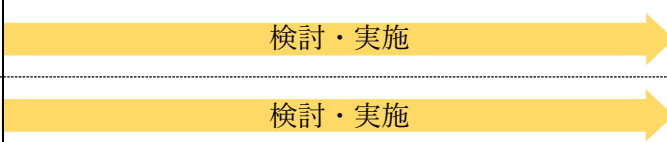
②広域移動への利便性向上



事業7		広域連携による新たな公共交通網の創出				
事業概要	<p>これからの公共交通については、近隣自治体との広域的な連携を目指しながら、利便性の向上と併せて地域一体として持続可能な公共交通網の構築に向けた協議が必要となってくる。特に路線が重なる部分や地域間を跨る路線についての連携について、具体的に検討していくことが効果的であると考えている。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■近隣自治体公共交通との連携の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横芝光町の「横芝光号成田便」 ・多古町の「多古-成田空港間シャトルバス」 ・山武市の「さんむウイングライナー」 ・成田市や富里市等との広域連携協議 					
						
実施主体	芝山町、近隣自治体、公共交通事業者					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体公共交通との連携（地域公共交通網の創出） ・近隣自治体との広域連携協議 	協議	検討・協議			
		実施	検討・実施			

■広域連携のネットワーク体系図

名称	結節点		備考
	芝山千代田駅	小池地区	
空港シャトルバス	○	○	
横芝光号成田便	○	○	整備地区
多古-成田空港間シャトルバス	○	—	整備地区
さんむウイングライナー	○	○	




事業8		高速バスによる利便性の再認識				
事業概要	<p>役場から都内（大崎駅）へバス一本でアクセスできる成田シャトルについて、コロナ禍等による利用客数の減少により現在運休中であるが、町民等から復活を望む声が多くあがっている。各地域から役場への接続等が整備されれば利用者数の増加が見込めるものと考え、成田シャトルの復活に起因するような状況の整備等を検討していく。</p> <p>また、高速バス（多古・富里～東京線）の利便性や有効性についてもあらためて周知し継続的な利用促進を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■成田シャトルの再開に向けた取組み検討</p> <p>■高速バス（多古・富里～東京線）の利用促進</p>					
	実施主体	芝山町、公共交通事業者				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	<ul style="list-style-type: none"> 成田シャトルの再開に向けた取組み検討 高速バス（多古・富里～東京線）の利用促進 					


事業9		道路交通混雑解消及びバス路線等定時性確保に向けた検討				
事業概要	<p>今後、成田空港の更なる機能強化等に伴い交通量の増加が予想されることから、安心安全で円滑な移動環境の構築を目指すとともにバス等の定時制確保に向けた検討を実施していく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■路線バス等の定時制確保に向けた検討</p>	 <p>主要地方道成田松尾線（芝山はにわ道）</p>				
	実施主体	芝山町、道路管理者等				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス等の定時性確保に向けた関係機関との検討 					

基本方針2 まちづくり事業との連携による効果的な交通体系を目指す

③将来のコンパクトな都市構造を支える公共交通の実現

事業10		小池地区におけるバスターミナルの新設				
事業概要	<p>小池地区は、将来的な町の中心拠点及び交流拠点の整備に伴い、地域のにぎわい機能も有する町の新たな交通結節拠点となるバスターミナルを新設することで、バス便数の多い混雑時間帯の集約化を図る。</p> <p>さらに、将来的には当町バス路線だけでなく高速バスやはにわ道を通る近隣自治体のバスも集約することで、南側地域における広域のかつ中心的な交通結節拠点としての役割を目指す。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■バスターミナルの新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の中心的な交通結節拠点を創出する。 <p>■パーク&ライドの活用</p> <p>■広域連携も踏まえた交通結節拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体のバス等も集約する南側地域における広域的な交通結節拠点の創出について検討する。 					
	実施主体	芝山町、公共交通事業者、周辺自治体				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・バスターミナルの新設	検討・協議				
	・パーク&ライドの活用検討	検討・協議				
	・広域連携も踏まえた交通結節拠点の創出検討	検討・協議				

事業 11		川津場地区における市街地開発との連携				
事業概要	<p>川津場地区は、成田市市の市街地に隣接し比較的高い生活利便性を有していることから、居住環境としての高いポテンシャルを備えている。そのため、良好な営農環境の保全を図ることはもちろん「農」をテーマとする移住ニーズに対応した「田園型居住地創出拠点」としての整備を進めている。</p> <p>また、移住者に対する成田空港等へのアクセスの創出については、官民連携まちづくり事業の特性を活かした民間企業との連携や、隣接自治体との地域間連携及び隣接する公共交通網の活用について検討していく。</p>					
	<p>【実施内容】</p> <p>■各連携による新たな公共交通網の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業のノウハウを活かした公共交通網の創出について検討する。 ・隣接自治体との広域連携について検討する。 ・隣接する民間公共交通網への接続や活用について交通事業者と協議する。 					
実施主体	芝山町、公共交通事業者、民間企業、周辺自治体					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・民間企業との協議	検討・協議				
	・隣接自治体との広域連携検討	検討・協議				
	・隣接する公共交通網との連携協議	検討・協議				

事業 12		千代田地区における市街地開発との連携				
事業概要	<p>千代田地区は、成田空港に近接し芝山鉄道の芝山千代田駅を有するなど、本町の成田空港南側の玄関口としての役割を担っている。今後、生活拠点や国内外からの観光客を受け入れる交流拠点として、居住機能や商業・業務機能、観光・交流機能などを整備し、成田空港との連携を深めながら「スカイゲート拠点」としての地域公共交通の充実を図る。</p> <p>また、地域住民及び観光客が鉄道やバスなどの多様な移動手段で、成田空港・周辺市町・町内各拠点等に円滑にアクセスできるような交通結節機能の充実化について検討する。</p>					
	<p>【実施内容】</p> <p>■スカイゲート拠点としての交通結節機能の充実についての検討</p>					
実施主体	芝山町、NAA、公共交通事業者、土地区画整理組合（仮）、周辺自治体					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・スカイゲート拠点としての交通結節機能充実の検討	検討・協議				


④成田空港の更なる機能強化に伴う地域として利用しやすい公共交通体系の実現

事業 13		成田空港の更なる機能強化に伴う公共交通ネットワークの構築				
事業概要	<p>「新しい成田空港」構想によるターミナルの集約化等、さまざまな内容が議論されているため、その方向性を見極めながら「地域における公共交通」として一体化が図れるように情報集約等に徹しながら必要な協議を重ねていく必要がある。その際は、NAAだけでなく近隣関係自治体との情報共有・連携を十分に図っていく。</p> <p>【実施内容】 ■「新しい成田空港」構想等の情報集約及び協議</p>					
実施主体	芝山町、NAA、公共交通事業者、周辺自治体					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・「新しい成田空港」構想等の情報集約及び協議					


基本方針 3 生活と観光の両輪による利用ニーズに適した交通体系を目指す

⑤利用促進による潜在需要の掘り起し、観光分野との連携

事業 14		モビリティ・マネジメントへの取組み				
事業概要	<p>公共交通に係る費用や新たな仕組みづくりに関しては、行政単独の対応には限界があるため、今後は町民の利用意識に基づく施策の展開やニーズの深掘りを図りながら地域と連携した取組みについて検討していく。</p> <p>また、町民側から意見のあった地区の意見交換会（地区の現況共有）を定期的に開催するとともに、住民の利用者意識の醸成を図るべく子供や高齢者を対象としたバスの利用方法・交通安全に関する「バスの乗り方教室」等を実施する。</p> <p style="text-align: right;">■エリア別意見交換会の様子</p> <div style="text-align: right;"> </div> <p>【実施内容】 ■地域と連携した取組みの検討 ・定期的な意見交換会の開催</p> <p>■地域や町民の利用者意識の醸成 ・バスの乗り方教室等の実施</p>					
実施主体	芝山町、地域及び町民、公共交通事業者					
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	・意見交換会の開催	実施	適宜実施			
	・バスの乗り方教室等の実施	実施	適宜実施			

事業 15		観光分野との連携				
事業概要	<p>町内観光施設等から公共交通のアクセスが悪いことで来場者のほとんどが自家用車で来ているとの意見が出ていることから、それらのアクセスが向上されれば来場者の増加や観光資源の活性化にも繋がると認識されている。</p> <p>そのため、観光分野と連携しながら公共交通の利用促進を図ることと併せてアクセスの向上について検討していく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■公共交通と観光分野が連携した取組みの検討</p> <p>■観光施設へのアクセス向上に向けた協議</p>	<p>■観光分野との連携の例</p> 				
	実施主体	芝山町、観光事業者、公共交通事業者				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	<ul style="list-style-type: none"> 観光分野との連携による取組み 観光施設へのアクセス向上に向けた協議 	<p>検討・協議</p> <p>検討・協議</p>				

⑥先進的技術の導入

事業 16		新モビリティサービス、先進的技術の活用				
事業概要	<p>当町の人口規模や移動実態、公共交通の利用状況（パーソントリップ）等を勘案すると、BRT・LRT・自動運転バス等の大規模な整備については慎重な判断が必要であると考えます。</p> <p>一方で、持続可能な公共交通を目指していくためには、それら新モビリティサービスの幅広い可能性についても協議していく必要があり、MaaS等の先進的な技術も含めて検討していく。</p> <p>【実施内容】</p> <p>■運賃のキャッシュレス化検討</p> <p>■持続可能な公共交通に向けた新モビリティサービス等の導入の検討</p> <p>■環境に配慮したEVバス等の導入の検討</p>	<p>■MaaSのイメージ</p> 				
	実施主体	芝山町、公共交通事業者				
実施時期	実施内容	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
	<ul style="list-style-type: none"> 運賃のキャッシュレス化検討 新モビリティサービス等の導入の検討 環境に配慮したEVバス等の導入の検討 	<p>検討・協議</p> <p>研究・検討</p> <p>研究・検討</p>				